

新しき陽は

(昭和四十年寮歌)

金子公良君 作歌
西雪弘光君 作曲

一

あたらし
新しき陽は今昇り
そら
空のはて黎明を告ぐ
くろくもにし
黒き雲西に流れん
あらし
吹きすさぶ嵐をつきて
へい
平和をと声は轟く

二

たく
逞ましき友の怒りに
お
雄々しくも我等誓いし
さち
幸の世永遠に築かん
ひろ
広き地に蹴ふりかざし
みどり
緑萌え水流るまで

三

かが
輝やける祖国の山河に
われら
こだまする我等が雄叫び
ひと
一すじの光求めて
うでく
ひたすらにただひたすらに
あゆ
腕組みて歩み進まん

四

しんじつ
真実の鐘鳴り響き
もりかげ
森影にどよめきのわく
じち
自治の旗風にゆらめき
な
名を留む伝え守りて
けいこ
恵迪は今よみがえる